

会 議 ・ 委 員 会 議 事 録

会議・委員会名称	令和6年度 介護医療連携推進会議（2回目）				
開催日時間	2025年3月12日(火) 13:00～15:00				
場所	ウェルミーテラス高根台 「まっぼっくり」会議室	主催	吉田	記録	曾根
出席者	事業所 所長：吉田 管理者：曾根 計画作成責任者：佐久間 高根台地区社会福祉協議会 ○○様 高根台地区民生児童委員 ○○様 新高根・芝山・高根台地域包括支援センター ○○様 高根台在宅介護支援センター： ○○様 訪問看護ステーション高根台 ○○様 ご家族代表：○○				
欠席者					

議題

1. サービス提供状況報告

○定期巡回随時対応型訪問介護看護のサービス説明（別紙参照）
 定期巡回Ⅲ 利用条件と利用時間、料金について説明。

○サービス実績報告（別紙資料参照）

質疑 Q；サポートハウスの他施設に入居とあるが、こういった経緯となったのか？

A；3回からサポートに転居され、費用面でたかねの杜への転居となりました。

費用面で転居という方もおり、GHに転居も費用面で安くなるので1名いた経緯がありません。

Q；一時介護室とは？

A；介護保険関係なく利用できるお部屋が一室あります。どなたでも利用できるのですが、急遽という場合は、ご相談ください。1泊3食付きで11,301円（介護は別）となります。

Q；ターミナルケアは住民誰もが、最後は家でと考えているので、ありがたい。

A；定期巡回の利用は介護保険対象となります。介護保険利用であれば、利用可能です。

Q；費用は一部免除とかないのか？

A；介護保険のみの場合はない。医療と組み合わせた場合は年末調整で申請することが可能です。一度支払いをして時間がかかって戻ってくることであります。

Q；最後まで支えるという想いで事業をされていると思いますが、ターミナルケアの件数が分かると、定期巡回でも最後まで支えている現状が分かり、最後の選択肢として考えやすいとおもうが。

A；現状は、地域提供の要介護4～5の対象者のほとんどがターミナルです。全体の1割程度です。ご意見の通り、今後事業所としても団体としても数値の見えるかに取り組んでいきます。

その他意見

訪問看護としてもターミナル期は緩和病棟に行ったり、緩和病棟から自宅に戻ったりと本人の心の変化で対応している。

今後は、自宅でのターミナルケアが増えてくると思います

家でなくなりたいということが本心だと思う。自分も妻を病院で亡くなったので、心残りだった。

会議・委員会議事録

最後であれ、病院から一時帰宅であれ、家族の満足度、本人の表情が安らかであることから満足されていたと思います

○報告事項

- ・自己評価・外部評価報告

コメント 項目番号2 介護スキルは研修を行っていると思うが、運転スキルの考慮はどうしているのか？

→ 大きな道路を通ることを自己申告していただき、一日の予定に余裕があるように作成をしている。

項目番号14 できていないに4名の集計となっているが、今までかかわっているケースにおいては一人暮らしの方もスタッフはとてもよくかかわってくださっていたが、なぜか？

→ この4名は建物内配属職員。人員配置上、新卒で入職など若い職員が建物内に多いため、この設問にできていないと回答をした。地域提供の職員はベテランであるため、できている状況があると思われる。職員への評価ありがとうございます。

項目番号32 今も周知の活動をされていると思いますが、安心できる情報を提供し続けていただき、何かあったら定期巡回と思うように、思い出せるように活動を継続してほしい。

項目番号8 インターネットの普及と活用が今後も多くなると思う。

- ・訪問看護ステーションとの連携契約状況

訪問看護ステーション高根台 セントケア訪問看護ステーション

エール訪問看護ステーション kei 訪問看護ステーション

追加説明 定期巡回サービスは、看護がないとできない事業です。今までは、訪問看護ステーション高根台のみ連携をしていましたが、訪問看護事業もエリアがあり、利用者のエリアにある訪問看護との連携を増やしている状況。

○事例紹介

- ・ICTを活用して支援をしているケース

テレビ電話（別紙参照・テレビ電話を紹介実施）

アレクサの活用

サポートハウス入居者 女性 92歳

今まで入居してから自分の部屋や共有スペースも自由に出入りしておられた。

8月頃より目がみえなくなり、不安要素と要望が増えて、コール回数月200回以上となる。その際、転倒や要望が増えたこと、要望の一部に、電気を消して、テレビつけて、今何時とあり。10月アレクサ導入。電気と時間の設定をする。

その後操作に慣れないことから10月の111回のコールから11月は165回と増えたが、その後、テレビ操作も追加し、2月には80回程度に減少し、自分なりに「アレクサ●●して」などと使いこなすようになった。

Q: ICTの活用は今後ますます充実すると思うし、いい試みと思うが、料金は別にかかるのか？

A: 月額料金の中に含まれているので、別料金とはなりません。

○地域の現状の確認

船橋市にアルソックと連携して、通報装置の設置のサービスがあるが、2名の連絡先を記入して申し込みする必要がある。住民の中には、親族も家族も地域の友人もいなく、連絡先をかけないので、申し込みができない人もいる。でもこのサービスが必要。

包括支援センターの場合は、なんとか1人は探すようにしているが、やはり連絡先がなく困

会議・委員会議事録

るケースもある。また、アルソックは鍵を預かるのだが、実際はいる場合は連絡先に電話をしてから入るといった流れになっている。

連絡先がないケースがあり、今回のケースで相談したかったのは、民生委員2名の連絡先を書いて申し込むことが可能かと考えていた。

救急車も同乗者がいないと発車しないことや病院まで来てくれる家族を探すことを求めることがある。

介護保険利用であれば、定期巡回・訪問看護・訪問診療で安心もできるが、介護保険申請に至らない場合は、連絡先がないと困ることがある

本当に必要な人に手が届かないのは、サービスとしてどうなのかと思う

安心カードを作成しているが、警察・救急・消防等で共有していない。存在を知らないこともある。

マイナンバーも保険証など紐づけすることができるが、申請時に薬情報を開示すると意思を表示しないと、いざという時に、薬情報を見ることができると分かった

独居で鍵が締まっている方の安否が取れない時も、消防に連絡しても割って入るガラス尾了承を家族にとれるまで居宅に入らないケースもあった

→上記の独居の場合、人とのつながりが少ない場合等で連絡先がない場合に、利用したいサービスも利用できない弊害、役割があっても、自社・責任追及されないために連絡繋がらないと動かない（動けない）実情があることも知ることができた。

→今回のメンバーで課題を共有したが、解決に至ることは行政を交えて対応していかなければ、改善策につながらないことも皆で共有した。

2. 評価・ご意見

民生委員の団体にぜひこのサービスをお伝えしてほしい。民生委員は300世帯に1人いるので、民生委員が理解することで、安心できる住民が増えると思う。

→ぜひ団体に話をして、進めていきたいと思います。

ベッドから落ちる方などいますか？

→現状はコールにて訪問することもあります。

救急車を1日に5~6回呼ぶ住民もいて、転倒を繰り返す人もいる中で、定期巡回は安心できるのではと思った

→夜間のみ安心のために利用することが出てきています。

3. 必要な要望・助言

〇〇氏 この会は地域のなまのこえを聞くことができる場なので、貴重です。訪問看護としても、地域で困ったらいつでも連絡をしてください。

〇〇氏 私は主に地域提供の定期巡回を見ているが、訪問介護より訪問滞在時間は短いですが、顔を合わせる時間が多いので、家族も本人も安心できるものと。

〇〇氏 サービスの周知が弱い。マイナスイメージを持っているケアマネもいる。もっと理解を求めることができるとよい。この地域は、地区で2か所の事業所があることも助かっている。

〇〇氏 地区社協として「安心登録カード」のデータ管理をしており、年1回更新をして、届けていただくのは、民生委員となっているが、民生委員も人が足りない状況で協力が難しい部分感じており、活動継続が難しい。

しかし、この1件1件回る人の努力も大切だと思いますし、孤独死を防ぐ、活動を通して助けたケースがあることも事実。

〇〇氏 この地域は独協が多すぎて民生委員が足りない。定期巡回はありがたい。周知活動が進むことで、断られるケースがあったら困るとも感じている。月額料金の事業はリスクが高いと感じている。事業所ごとに考え方が変わることがあるので、事業として団体と

会議・委員会議事録

して、使い方が整うように基準等があるといいのではと思っています。

- 〇〇氏 今日には事業の内容や相場を見ることができてよかった。24時間駆け付け対応があることも知ることができてよかった。困ったらここに来ればよいと安心できた。
- 〇〇 昨年本日参加の山内様に周知活動をもっとしてほしいと意見があり、事業所としても認知症サポーター講座に紐づけて事業の説明なども実施し、ゼロではないがほんの少し進むことができたと感じています。団体としても、ケアマネジャーに家族や本人が提案してもあまりいい顔をされないことがあると、サービスの普及は進まないとも思うので、周知と理解を進めていきたい。今年は新しく開設した事業所もあり、それなりに周知活動ができたと思っている。

・次回開催日程

2025年9月頃 開催予定 月 日 () 時開催

今回、ご要望のあったことが少しでも進捗していることが報告できるようにすること。